

令和6年度道路貨物運送業における県下一斉パトロール実施要綱

愛知労働局 安全課

1 趣旨・目的

愛知県内の道路貨物運送業では、死傷災害（労働災害による死亡・休業4日以上をいう。以下同じ。）が平成30年より高い水準で推移し、令和5年の死傷者数は、令和4年より15人増加して927人となり、過去10年間で2番目に多い結果となりました。

また、令和5年の同業種における死傷災害のうち死亡者数は7人となり、令和4年より3人の増加となっております。

このように道路貨物運送業の死傷災害は増加傾向であり、第14次労働災害防止推進計画の目標達成に向けて、より一層の取組みが必要な状況です。

特に、安全衛生管理を促進し、働く人々の安全・健康確保を図ることは、業界全体のイメージアップに繋がり、人材確保のための重要な取組の1つであります。誰一人として、労働災害により労働の場を離れることのないように、労働災害防止（特に荷役作業等による重篤な労働災害の防止）に向けた機運の醸成を図るため、道路貨物運送業パトロールを実施します。

2 道路貨物運送業パトロール実施期間

秋の交通安全運動期間（9月21日～9月30日）を中心とする期間（令和6年9月15日～10月15日）

3 主唱者

愛知労働局

陸上貨物運送事業労働災害防止協会愛知県支部

一般社団法人愛知県トラック協会

4 主唱者の実施事項

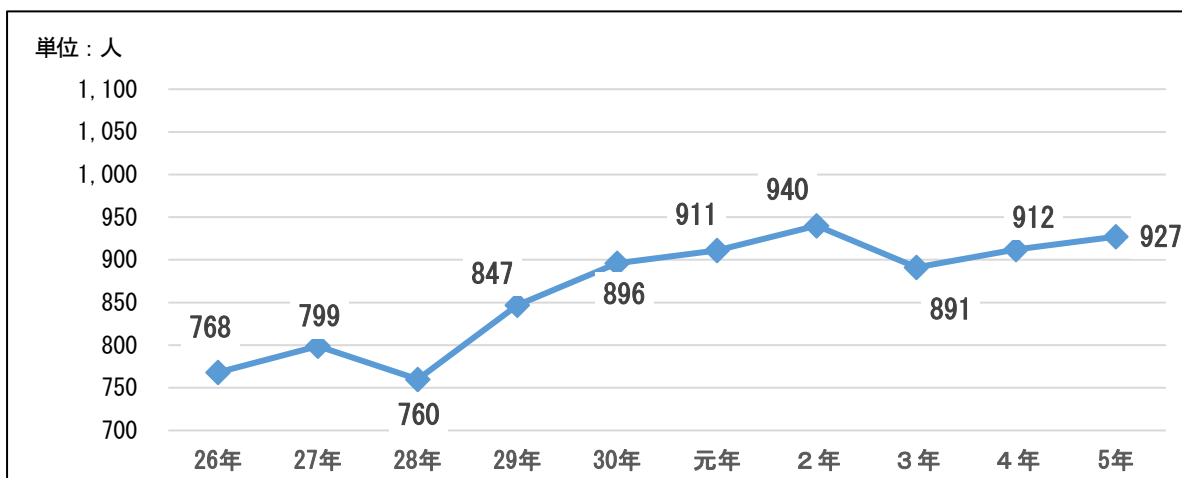
- (1) 局署幹部と労働災害防止団体幹部等との合同パトロール
- (2) 自律的でポジティブな安全衛生管理への支援・指導
- (3) 「陸上貨物運送事業における荷役作業の安全対策ガイドライン」に基づく荷主等への要請等

5 事業者を実施していただきたい実施事項

- (1) 自律的でポジティブな安全衛生管理の推進
- (2) リスクアセスメントに積極的に取り組むとともに、そのプロセスを通じてPQCDsMEを一体的に管理できることを認識し、実践に努める。
- (3) 重篤な労働災害の防止
- (4) 総合的な健康対策

道路貨物運送業における労働災害発生状況

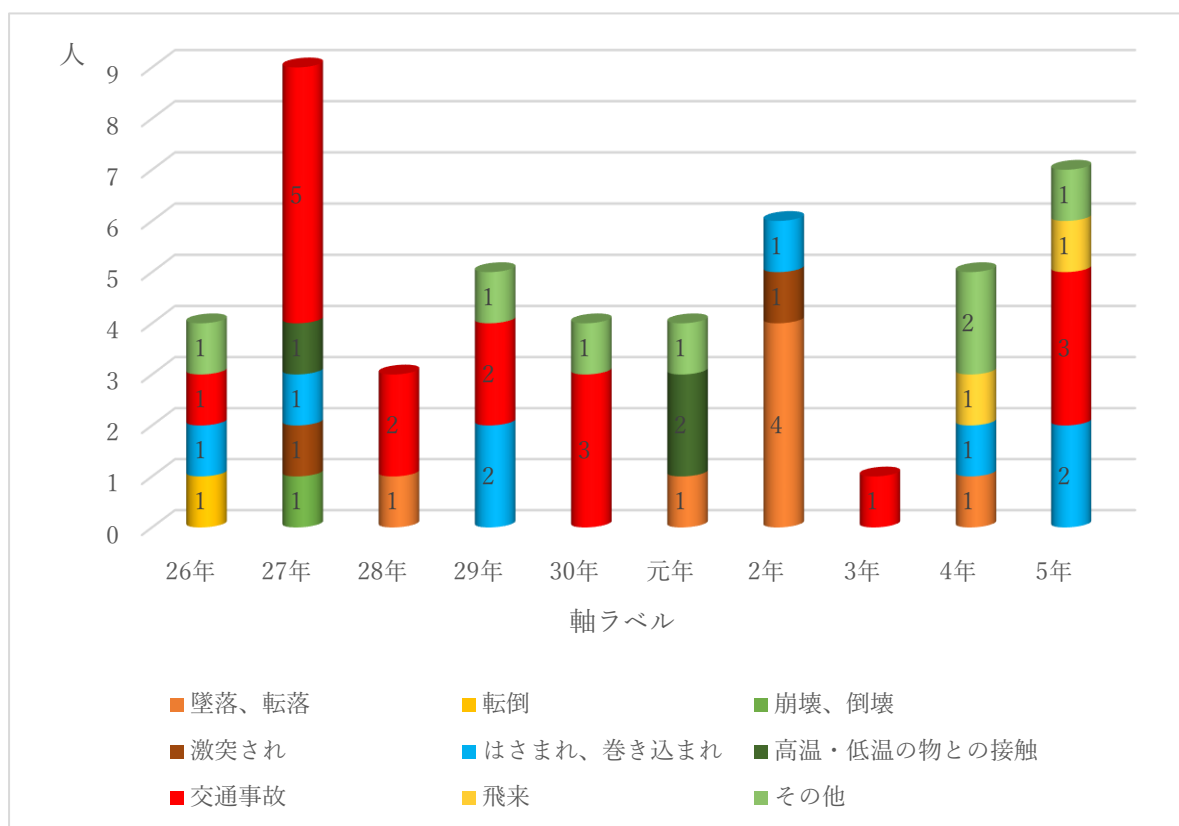
グラフ1 死傷者数の年別推移（愛知県内事業場。死亡・休業4日以上合計数。）



*過去10年においては、減少している年もあるものの、長期的には増加傾向に歯止めがかからない状況となっている。

新型コロナを除く

グラフ2 死亡者数の年別推移（愛知県内事業場。事故の型別。）

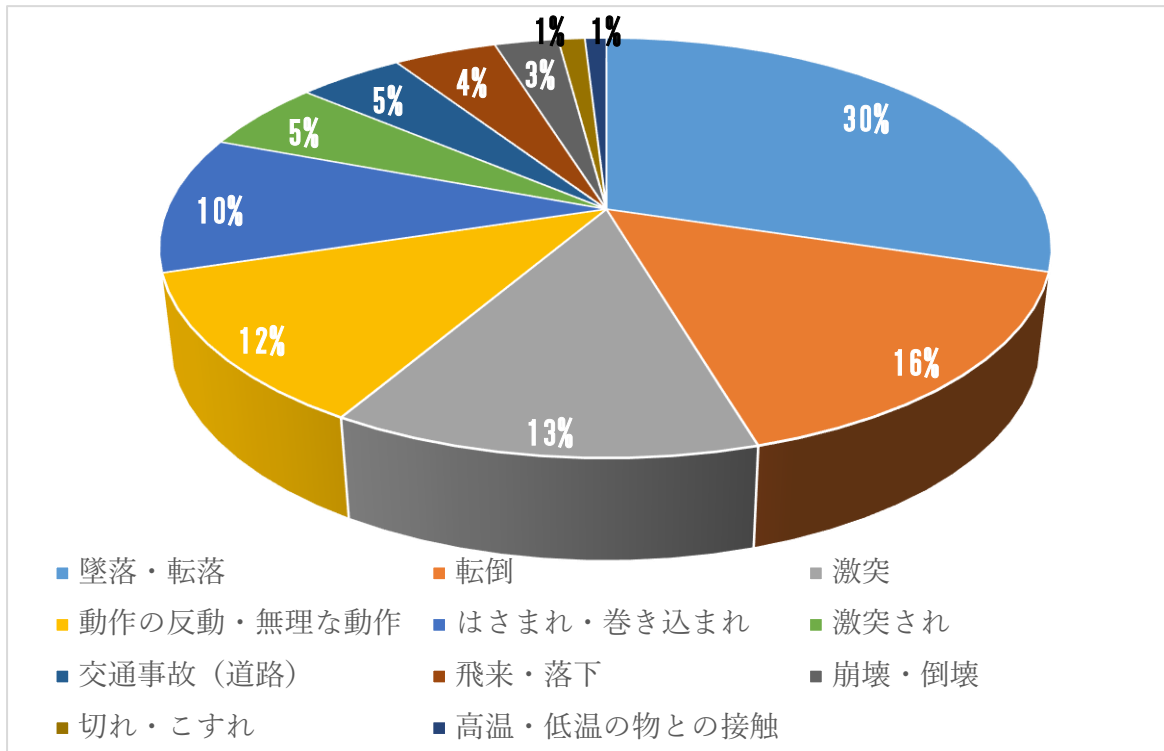


*令和2年はトラックの荷台や荷物等からの墜落、転落災害が4人発生している。

*令和5年は荷役作業時における災害が3人発生している。

グラフ3 「事故の型」別死傷者数と割合

(愛知県内事業場。死亡・休業4日以上合計人数。令和元年から5年までの5年間における死傷者合計。)



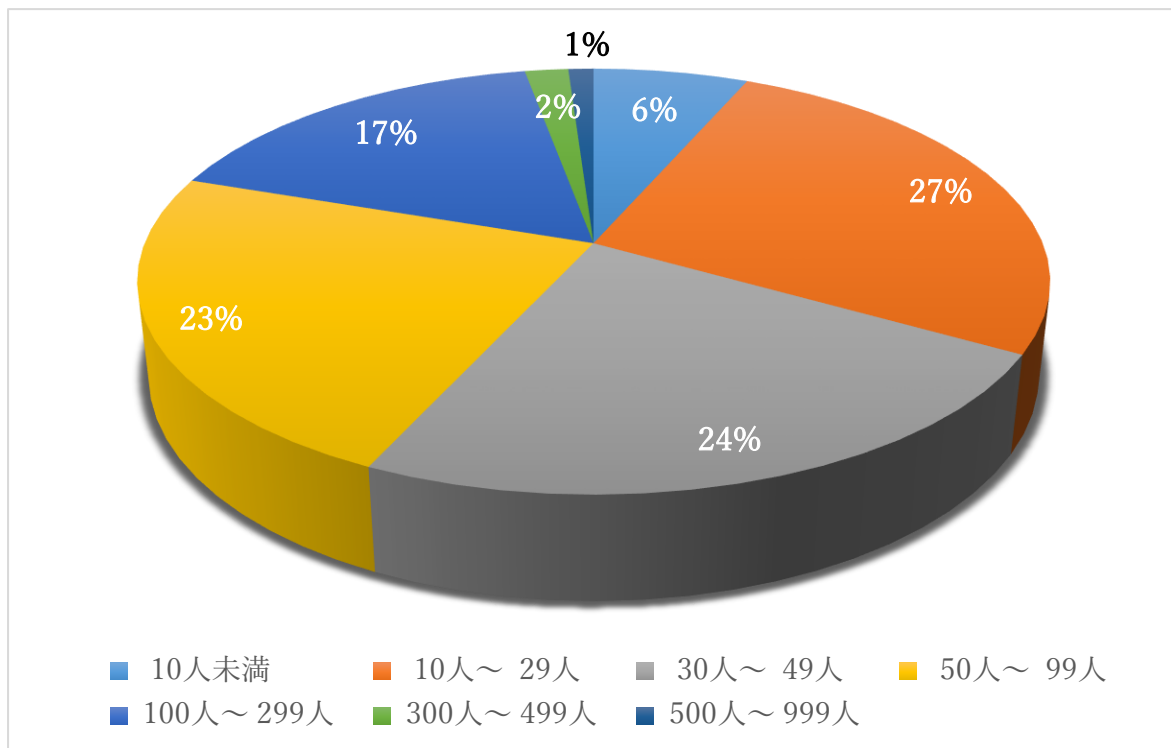
事故の型	死傷者数 (令和元年～5年合計)
墜落、転落	1341
転倒	708
激突	588
動作の反動、無理な動作	530
はさまれ、巻き込まれ	475
激突され	244
交通事故(道路)	206
飛来、落下	201
崩壊、倒壊	124
切れ、こすれ	52
高温・低温の物との接触	42
その他	22
踏み抜き	10
交通事故(その他)	7
有害物との接触	4
分類不能	2
感電	1
破裂	1
火災	1

* 「事故の型」別死傷者数の表(上表)中、赤字で表示したものは全体数に対し少数であるため、上記円グラフには含んでいない。(グラフ上0%となるため。)

* 「墜落、転落」→「転倒」→「激突」→「動作の反動、無理な動作」の順で多く発生しており、この4つの事故の型で全体の約7割を占めている。

グラフ4 「事業場規模別」別死傷者数と割合

(愛知県内事業場。死亡・休業4日以上合計人数。令和元年から5年までの5年間における死傷者合計。)



事業場規模	死傷者数 (令和元年～5年合計)
10人未満	296
10人～29人	1209
30人～49人	1073
50人～99人	1057
100人～299人	766
300人～499人	83
500人～999人	48
1000人以上	2
不明	25

* 「事故の型」別死傷者数の表（上表）中、赤字で表示したものは全体数に対し少数であるため、上記円グラフには含んでいない。（グラフ上0%となるため。）

* 「10人～29人」→「30人～49人」→「50人～99人」の順で多く発生しており、この3つの規模の事業場で全体の約7割を占めている。